令和5年度　美術科　第3学年　年間指導計画

学期	月	時数	学習内容	評価規準			ICTの活用
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1学期	4月	1	・オリエンテーション				電子黒板
	4月 5月	4	・線遠近法（透視・投影）の理論 ・仏像と建造物の見方	線遠近法の原理と種類について学習する。 修学旅行を前に歴史的建造物の基礎知識を身につける。	1点・2点・3点透視図法と等角投影図法、斜投影図法（30°45°）を利用して実際に作図する。 修学旅行で自分の目で確かめる。	定規の使い方や丁寧に線を引くことなど、正確さを確認し、そのワークシートを保管し、ノートに添付する。	電子黒板
	6月	4	・立体感のある平面構成	英単語か簡単な英文をゴシック体でレタリングし、B4のパースペクティブシートに正確に写す。	光源の位置を決め、3段階の明暗のトーンと面を確認し、配色計画を立てる。	形体や配色を試行錯誤し、その軌跡（ワークシート）をノートに添付する。	電子黒板 タブレット
	7月	2	・ポスター（有志）	課題とするポスターの題材を選び、原画を描き、レイアウトや配色を考え、試行錯誤する。	応募の条件を遵守し、四つ切画用紙に下描き、着色（ポスターカラー）を施す。アドバイスを受け、細部や標語にもこだわり完成させる。	ポスターコンクールに応募する。	タブレット
2学期	9月 10月	8	・立体感のある平面構成	背景の無彩色のグラデーションにマッチした文字の配色かを考える。	地平線・消失点・延長線が正しく置かれているか確認する。特に奥行きを表す面が長い時、同じ面であっても消失点に近いところを徐々に無彩色に近づける。	制作を振り返り、ワークシートにまとめ、友達の作品の良さも感じ取り、ノートにまとめる。	タブレット
	11月 12月 1月 2月	2	・スクラッチオリジナル時計（卒業記念品）	制作の手順と条件、道具やクオーツの装着について理解する。デザインのテーマを時計として、卒業記念記念品として、スクラッチ版としてふさわしいものを考えるようにする。	①原画作成→ ②写し→ ③スクラッチ→ ④着色→ ⑤針とクオーツの装着→ ⑥フレーム の工程を一つ一つていねいに積み上げていく。特に着色時の絵の具の水の量、黒が基調なので明度を明るくすること、時針・分針・秒針の取り付け位置に気を付けさせる。	学習発表会の展示作品から友達の作品を鑑賞し、感想をまとめ、相互理解に努める。 自分の作品の制作も振り返り、卒業後の生活に彩を与えられるようにする。	タブレット
		2					電子黒板 書架カメラ
3学期		6					
	3月	4	・名画鑑賞	電子黒板や動画でできるだけ大きく、また細部の表現を詳しく確認する。	日本や西洋の著名な美術作品に触れ、美術史の流れと作者の意図を理解する。	班ごとに話し合い、作品の情報や見る側の感想を共有する。友達の意見も聞き、今後の生活に生かす。	タブレット

評価計画

【各観点ごとの評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価資料	・授業観察 ・ポスター ・資料収集 ・定期考査	・授業観察 ・制作過程（作品） ・完成作品 ・ワークシート（振り返り）	・授業観察 ・ノート ・提出物 ・アイデアスケッチ（原画）